

事業報告書

平成 23 年度 (2011 年度)

社団法人日本プロサッカーリーグ

〔目次〕

1) プロサッカー試合の主催及び公式記録の作成

① プロサッカー試合の主催

- 1 J1リーグ戦
- 2 J2リーグ戦
- 3 リーグカップ戦
- 4 第91回天皇杯全日本サッカー選手権大会

② 公式記録の作成、管理及び運用

- 1 試合記録
- 2 映像
- 3 静止画像

③ 表彰

- 1 J.LEAGUE AWARDS(表彰式)の開催
- 2 リーグ戦成績及びリーグカップ戦成績に対する表彰
- 3 その他の表彰

2) プロサッカーに関する諸規約の制定

① プロサッカーに関する諸規約の制定

- 1 規約規程集の発行
- 2 「Jリーグクラブライセンス交付規則」の制定

3) プロサッカー選手、監督及び審判員等の養成、資格認定及び登録

① プロサッカー選手、監督、コーチ及び審判員等の養成、資格認定及び登録

- 1 プロサッカー選手の資格認定及び登録
- 2 Jリーグ アカデミーの推進
 - (1) 選手一貫教育の実施
 - (2) 研修会等の実施
 - (3) 育成年代の試合環境整備の推進
 - (ア) Jユースカップ
 - (イ) Jリーグ U-14
 - (ウ) Jリーグ U-13
 - (4) 地域とのネットワークづくり活動の促進
 - (5) 試合分析等
- 3 プロサッカーの監督及びコーチの養成及び登録
- 4 プロサッカーの審判員の養成及び登録
- 5 レフェリング分析のインターネット配信

② マッチコミッショナーの任命

- 4) プロサッカーの試合の施設の検定及び用具の認定
 - ① プロサッカーの試合の施設の検定及び用具の認定
 - 1 スタジアム施設の検査、公式試合開催指定スタジアムの指定
 - 2 用具の認定

- 5) 放送等を通じたプロサッカーの試合の広報普及
 - ① プロサッカーの試合のテレビ放送等に関する契約
 - 1 テレビ放送等に関する契約

- 6) サッカー及びサッカー技術に関する調査、研究及び指導
 - ① 各種委員会等による研修の実施
 - 1 管理スタッフ教育のための研修
 - 2 サッカーに関する情報収集のための研修

 - ② ドーピング検査の実施
 - 1 ドーピング検査の実施

 - ③ サッカーの施設充実及び運営に関する研究
 - 1 セキュリティ研究会の開催
 - 2 スタジアム等サッカーの施設整備の推進

 - ④ クラブ経営状態の調査及び指導

 - ⑤ 準加盟クラブの資格審査及び指導

 - ⑥ ファン リレーションズ促進を狙いとした施策の実施及び各クラブの施策支援

 - ⑦ マーケティングの分野における調査研究及び研修の実施
 - 1 マーケティング調査研究の実施
 - 2 マーケティング研修会等の実施

 - ⑧ リーグ構造に関する調査、研究
クラブライセンス制度の導入

- 7) プロサッカー選手、監督及び関係者の福利厚生事業の実施
 - ① プロサッカー選手、監督及び関係者の福利厚生事業の実施
 - 1 プロサッカー選手を対象とした災害補償制度の実施
 - 2 プロサッカー選手のキャリア教育

- 8) サッカーに関する国際的な交流及び事業の実施
 - ① サッカーに関する国際的な交流及び事業の実施
 - 1 国際大会への参加
 - 2 国際親善試合の実施
 - 3 育成年代の国際交流試合の実施

- 9) サッカーをはじめとするスポーツの振興及び援助
 - ① Jリーグ設立趣旨の具現化の推進

- 1 各クラブの活動状況の実状及び計画に関する調査とそのフォロー
- 2 地域スポーツ振興への支援
- 3 地域ボランティア活動への支援
- 4 女子サッカー普及への支援
- 5 スタジアムおよび総合型スポーツクラブとしての基盤等の整備

10) 機関紙の発行等を通じたプロサッカーに関する広報普及

- ① 機関紙の発行等を通じたプロサッカーに関する広報普及
 - 1 プロサッカーの試合開催の告知
 - 2 Jリーグの理念の告知
 - 3 Jリーグに関する広報誌、DVDの発行
 - 4 Jリーグに関する海外向けの広報誌の発行及びインターネットによる情報提供
 - 5 Jリーグに関する出版物の発行
 - 6 Jリーグに関する情報サービス
 - 7 Jリーグに関する活動についての説明会の実施

11) その他目的を達成するために必要な事業

- ① プロサッカーに関するスポンサー及びサプライヤー契約
 - 1 スポンサー及びサプライヤー契約
- ② 共同事業に関するスポンサー及びサプライヤー契約
 - 1 共同事業に関するスポンサー及びサプライヤー契約
- ③ プロサッカーに関する商標等の登録、管理及びそれらを使用した商品の製作販売
 - 1 商標の登録、管理
 - 2 Jリーグのマーク、デザイン等を使用した商品の制作販売
 - 3 データ事業
- ④ コンプライアンス体制の構築
 - 1 Jリーグ関係者を対象としたコンプライアンス体制の確立に向けた研究
- ⑤ その他目的を達成するために必要な事業
 - 1 Jヴィレッジ及びJリーグ関連3社への運営参画
 - 2 スポーツ振興投票対象試合開催機構の業務
- ⑥ Jリーグ20周年事業の実施
- ⑦ 東日本大震災復興支援活動の実施

平成23年度(2011年度)事業報告書

1) プロサッカー試合の主催及び公式記録の作成

① プロサッカー試合の主催

-1 J1リーグ戦

J1会員18クラブの参加によるリーグ戦を有料で開催し、その成績に応じて表彰を行った。総入場者実数は4,833,782人、1試合平均は15,797人であった。

開催期間	3月5日(土)～12月3日(土) 主に土曜日または水曜日に開催
開催場所	主に各クラブのホームタウンにおけるスタジアム
大会方式	2回戦総当たりリーグ戦 全306試合
出場クラブ	J1会員18クラブ
成績	優勝 柏レイソル 2位 名古屋グランパス 3位 ガンバ大阪 4位 ベガルタ仙台 5位 横浜F・マリノス 6位 鹿島アントラーズ 7位 サンフレッチェ広島 8位 ジュビロ磐田 9位 ヴィッセル神戸 10位 清水エスパルス 11位 川崎フロンターレ 12位 セレッソ大阪 13位 大宮アルディージャ 14位 アルビレックス新潟 15位 浦和レッズ 16位 ヴァンフォーレ甲府 17位 アビスパ福岡 18位 モンテディオ山形

-2 J2リーグ戦

J2会員20クラブの参加によるリーグ戦を有料で開催し、その成績に応じて表彰を行った。総入場者実数は2,440,695人、1試合平均は6,423人であった。

開催期間	3月5日(土)～12月3日(土) 主に土曜日または水曜日に開催
開催場所	主に各クラブのホームタウンにおけるスタジアム
大会方式	2回戦総当たりリーグ戦、全342試合
出場クラブ	J2会員20クラブ
成績	優勝 FC東京 2位 サガン鳥栖 3位 コンサドーレ札幌 4位 徳島ヴォルティス 5位 東京ヴェルディ 6位 ジェフユナイテッド千葉

7位	京都サンガF.C.
8位	ギラヴァンツ北九州
9位	ザスパ草津
10位	栃木SC
11位	ロアッソ熊本
12位	大分トリニータ
13位	ファジアーノ岡山
14位	湘南ベルマーレ
15位	愛媛FC
16位	カターレ富山
17位	水戸ホーリーホック
18位	横浜FC
19位	ガイナレ鳥取
20位	FC岐阜

-3 リーグカップ戦

J1会員18クラブが参加。その成績に応じて表彰を行った。総入場者実数は292,290人、1試合平均は10,822人であった。

大会名	2011 Jリーグヤマザキナビスコカップ	
開催期間	1回戦第1戦	6月5日(日)
	1回戦第2戦	7月27日(水)
	2回戦第1戦	9月14日(水)
	2回戦第2戦	9月28日(水)
	準々決勝	10月5日(水)
	準決勝	10月9日(日)
	決勝	10月29日(土)
開催場所	主に各クラブのホームタウンにおけるスタジアム 決勝：東京・国立競技場	
大会方式	1回戦、2回戦はホーム&アウェイ方式、準々決勝以降は1試合制のトーナメント方式。AFCチャンピオンズリーグ出場の4クラブ(鹿島アントラーズ、名古屋グランパス、ガンバ大阪、セレッソ大阪)は、1回戦、2回戦をシード。	
出場クラブ	J1会員18クラブ	
成績	優勝	鹿島アントラーズ
	2位	浦和レッズ
	3位	名古屋グランパス、ガンバ大阪
	MVP	大迫 勇也(鹿島アントラーズ)
	ニューヒーロー賞	原口 元気(浦和レッズ)

-4 第91回天皇杯全日本サッカー選手権大会

開催期間	1回戦	9月3日(土)、4日(日)
	2回戦	10月8日(土)、10日(月・祝)、12日(水)
	3回戦	11月16日(水)
	4回戦	12月17日(土)、21日(水)
	準々決勝	12月24日(土)
	準決勝	12月29日(木)
	決勝	2012年1月1日(日・祝)

開催場所	全国のスタジアム
大会方式	トーナメント方式
出場クラブ	J 1 : 1 8 チーム J 2 : 2 0 チーム 第 1 3 回 J F L 前期 7 節から 1 1 試合を行った時点の上位 2 チーム 第 3 5 回 総理大臣杯 全日本大学サッカー選手権大会優勝チーム 都道府県代表 4 7 チーム
成績	優勝 FC 東京 準優勝 京都サンガ F.C. 3 位 横浜 F・マリノス、セレッソ大阪

② 公式記録の作成、管理及び運用

-1 試合記録

J 1 及び J 2 会員クラブによるリーグ戦の試合等、公式試合及び公式行事の記録の作成及び収録、保管及び管理、試合速報等の販売を (株) J リーグメディアプロモーションに委託し行った。

(業務委託先: (株) J リーグメディアプロモーション (株) J リーグメディアプロモーションは、データスタジアム (株) と協力して J リーグデータセンター運営業務を行った。)

-2 映像

J 1 及び J 2 会員クラブによるリーグ戦の試合等、公式試合及び公式行事の映像の収録、保管、管理及び販売ならびに選手肖像等の管理を (株) J リーグメディアプロモーションに委託し行った。

-3 静止画像

J 1 及び J 2 会員クラブによるリーグ戦の試合等、公式行事及び公式行事の静止画像の収録、保管、管理及び販売ならびに選手肖像等の管理を J リーグフォト (株) に委託し行った。

③ 表彰

-1 J.LEAGUE AWARDS(表彰式)の開催

行事名	2 0 1 1 J リーグアウォーズ
開催期日	1 2 月 5 日 (月)
開催場所	横浜アリーナ
受賞者	(1) 最優秀選手賞 レアンドロ ドミンゲス (柏)
	(2) ベストイレブン (1 1 名)
	<u>GK (1 名)</u> 檜崎 正剛 (名古屋)
	<u>DF (3 名)</u> 近藤 直也 (柏)、酒井 宏樹 (柏)、田中 マルクス 闘莉王 (名古屋)
	<u>MF (5 名)</u> ジョルジ ワグネル (柏)、レアンドロ ドミンゲス (柏)、藤本 淳吾 (名古屋)、遠藤 保仁 (G 大阪)、清武 弘嗣 (C 大阪)

FW (2名)

ハーフナー マイク (甲府)、ケネディ (名古屋)

(3) 優秀選手賞 (29名)

GK (3名)

林 卓人 (仙台)、菅野 孝憲 (柏)、楢崎 正剛 (名古屋)

DF (9名)

角田 誠 (仙台)、鎌田 次郎 (仙台)、近藤 直也 (柏)、
酒井 宏樹 (柏)、栗原 勇蔵 (横浜FM)、中澤 佑二 (横浜
FM)、太田 宏介 (清水)、田中 マルクス 闘莉王 (名古屋)、
増川 隆洋 (名古屋)、

MF (10名)

野沢 拓也 (鹿島)、大谷 秀和 (柏)、ジョルジ ワグネル (柏)、
レアンドロ ドミンゲス (柏)、中村 憲剛 (川崎F)、
駒野 友一 (磐田)、ダニエルソン (名古屋)、藤本 淳吾 (名古屋)、
遠藤 保仁 (G大阪)、清武 弘嗣 (C大阪)

FW (7名)

ハーフナー マイク (甲府)、前田 遼一 (磐田)、ケネディ (名古屋)、
玉田 圭司 (名古屋)、イ グノ (G大阪)、
ラフィーニャ (G大阪)、李 忠成 (広島)

(4) 得点王

ケネディ (名古屋)

(5) ベストヤングプレーヤー賞

酒井 宏樹 (柏)

(6) フェアプレー賞 高円宮杯

ガンバ大阪

(7) フェアプレー賞 J1

モンテディオ山形

(8) フェアプレー賞 J2

FC東京

(9) フェアプレー個人賞

梁 勇基 (仙台)、太田 宏介 (清水)

(10) 最優秀監督賞

ネルシーニョ (柏)

(11) 最優秀主審賞

西村 雄一

(12) 最優秀副審賞

相楽 亨

(13) Jリーグベストピッチ賞

NACK5スタジアム大宮、等々力陸上競技場、日産スタジアム、
アウトソーシングスタジアム日本平

(14) 功労賞

(該当なし)

(15) 功労選手賞

故松田 直樹氏、三浦 淳宏氏

(16) 功労審判員賞

岡田 正義氏

- (17) 最優秀育成クラブ賞
東京ヴェルディ

表彰

- (1) 最優秀選手賞
ブック型楯、賞金2,000,000円、ゴールデンボールトロフィー、カリブ海クルーズペアの旅、アディダスオリジナルガラス製ボール型大皿トロフィー
- (2) ベストイレブン
ブック型楯、賞金1,000,000円、クリスタル・オーナメント
- (3) 優秀選手賞
記念メダル (18K)
- (4) 得点王
ブック型楯、賞金1,000,000円、ゴールデンシューズトロフィー、コカ・コーラ ゴールドトロフィー、コカ・コーラ一年分、プラチナ/ダイヤモンドピンブローチ
- (5) ベストヤングプレーヤー賞
ブック型楯、賞金500,000円、オリジナル高級腕時計 (ティファニー製)、オリジナル純金メダル&ブック型表彰楯
- (6) フェアプレー賞 高円宮杯
高円宮杯、賞金 5,000,000円
- (7) フェアプレー賞 J1
賞金5,000,000円
- (8) フェアプレー賞 J2
記念品
- (9) フェアプレー個人賞
楯、賞金500,000円
- (10) 最優秀監督賞
ブック型楯、賞金1,000,000円、デジタル一眼レフカメラ EOS Kiss X5・ダブルズームキット、旅行券 (100万円分)
- (11) 最優秀主審賞
ブック型楯、海外研修旅行、アディダスオリジナルフラッグ型ガラス製皿型トロフィー、オリジナル半導体ウェハプレート
- (12) 最優秀副審賞
ブック型楯、海外研修旅行、銀製アシスタントレフェリーフラッグシールド、オリジナル半導体ウェハプレート
- (13) Jリーグベストピッチ賞
ブック型楯
- (14) 功労選手賞
楯、腕時計
- (15) 功労審判員賞
楯、腕時計

(16) 最優秀育成クラブ賞
ブック型楯、宮崎牛一頭

-2 リーグ戦成績及びリーグカップ戦成績に対する表彰

■2011 J1リーグ戦

優勝	柏レイソル	賞金200,000,000円、Jリーグ杯 (優勝銀皿)、日本サッカー協会会長杯、 メダル、チャンピオンフラッグ
2位	名古屋グランパス	賞金100,000,000円、Jリーグ杯 (準優勝銀皿)
3位	ガンバ大阪	賞金80,000,000円
4位	ベガルタ仙台	賞金60,000,000円
5位	横浜F・マリノス	賞金40,000,000円
6位	鹿島アントラーズ	賞金20,000,000円
7位	サンフレッチェ広島	賞金10,000,000円

■2011 J2リーグ戦

優勝	FC東京	賞金20,000,000円、Jリーグ杯
準優勝	サガン鳥栖	賞金10,000,000円、Jリーグ杯
3位	コンサドーレ札幌	賞金 5,000,000円

■2011 Jリーグヤマザキナビスコカップ

優勝	鹿島アントラーズ	賞金100,000,000円、Jリーグカッ プ(チェアマン杯)、ヤマザキナビスコカッ プ(スポンサー杯)、メダル
2位	浦和レッズ	賞金50,000,000円、楯、メダル
3位	名古屋グランパス	賞金20,000,000円、楯
3位	ガンバ大阪	賞金20,000,000円、楯
MVP	大迫 勇也(鹿島)	賞金1,000,000円、クリスタルオーナ メント、ヤマザキナビスコ製品1年分
ニューヒーロー賞	原口 元気(浦和)	賞金500,000円、クリスタルオーナ メント、ヤマザキナビスコ製品1年分

-3 その他の表彰

■2011 Jユースカップ 第19回Jリーグユース選手権大会

優勝	名古屋グランパスU18	Jユースカップ、朝日・日刊杯、金メダル
準優勝	セレッソ大阪U-18	朝日・日刊杯、銀メダル
3位	清水エスパルスユース	朝日・日刊杯
	サンフレッチェ広島F.Cユース	朝日・日刊杯

2) プロサッカーに関する諸規約の制定

① プロサッカーに関する諸規約の制定

-1 規約規程集の発行

定款、規約及び諸規程、試合実施要項等を記載した規約規程集を作成し、サッカー関係者、マスコミ等を対象に有料で発行した。

-2 日本版クラブライセンス交付規則(仮称)の制定

アジアサッカー連盟加盟諸国に2013年シーズンからの導入が求められている「クラブライセンス交付規則」につき、財団法人日本サッカー協会からの委任にもとづき、日本国内向けの制度として「Jリーグクラブライセンス交付規則」を制定し、アジアサッカー連盟の承認を得た。

3) プロサッカー選手、監督及び審判員等の養成、資格認定及び登録

① プロサッカー選手、監督、コーチ及び審判員等の養成、資格認定及び登録

-1 プロサッカー選手の資格認定及び登録

本リーグのプロサッカー選手を対象に、財団法人日本サッカー協会発行の選手契約書等による契約など資格要件に沿って選手登録を行った。

-2 Jリーグ アカデミーの推進

育成年代の一貫指導体制、リーグ戦、指導者養成、トレーニング環境、メディカル体制の充実を図り、そのノウハウを広く共有した。

- ・ 各クラブがホームタウンで実施している子どもたちの人間性や社会性を育む活動を推進し、地域とのネットワークづくりをサポートした。
- ・ 変動する現代社会に左右されがちな子どもたちの発育を医科学的に分析し、国民の心身の健全な発達に寄与するよう努めた。

(1) 選手一貫教育の実施

Jクラブのアカデミーの選手育成のため、サッカーの技術面だけでなく、子どもたちの問題解決能力や考える力を引き出す等、人間性や社会性を育む活動を行った。

研修会名	キャリアデザインサポートプログラム ([よのなか]科)
開催期日	6～11月(順次)
対象者	J1及びJ2会員14クラブのアカデミープレーヤー
会場	J1及びJ2会員クラブのクラブハウス他

(2) 研修会等の実施

Jクラブの育成責任者(アカデミーダイレクター)及びコーチの養成を目的とした研修会を実施した。また、世界で活躍する選手の育成を目的として、Jクラブのアカデミーよりポテンシャルの高い選手を選抜し、強化トレーニングを実施した。

- ・ Jリーグ アカデミーダイレクター マネジメント研修
 - 開催日 11月17日(木)～18日(金)
 - 対象者 J1及びJ2会員クラブの育成責任者(アカデミーダイレクター)
 - 会場 JFAハウス

・ Jリーグ アカデミーコーチ研修

開催方法	J 1及びJ 2会員を2グループに分け、年2回実施
開催期日	第1回 ①5月16日～5月20日 ②5月30日～6月3日
	第2回 ①9月26日～9月30日 ②10月17日～10月21日
対象者	J 1及びJ 2会員クラブのアカデミーコーチ
会場	①新潟・ホテルベルナティオ ②福岡・グローバルアリーナ

・ Jリーグ U-14トレーニングキャンプ

開催期日	5月5日～8日
対象者	J 1及びJ 2会員クラブのアカデミープレーヤー対象者 J 1及びJ 2会員クラブのアカデミープレーヤー
会場	大阪・J-GREEN堺

(3) 育成年代の試合環境整備の推進

1人でも多くの優秀な選手を輩出するために、育成年代の試合環境の整備を推進した。

(ア) Jユースカップ

高校生年代の第2種選手育成のため、J 1会員18クラブ及びJ 2会員18クラブ、日本クラブユースサッカー連盟代表4クラブの参加によるJ ユースカップを無料で開催した。

大会名	2011 Jユースカップ 第19回 Jリーグユース選手権大会
開催期間	<u>予選リーグ</u> 10月22日(土)～11月13日(日)
	<u>決勝トーナメント</u>
	1回戦 11月20日(日)
	2回戦 11月23日(水・祝)
	準々決勝 11月27日(日)
	準決勝 12月23日(金・祝)
	決勝 12月25日(日)
開催場所	<u>予選リーグ</u> 主に各クラブのホームタウンにおけるスタジアム等
	<u>決勝トーナメント</u>
	1回戦 日産フィールド小机/万博記念競技場
	2回戦 出場クラブホームスタジアム等
	準々決勝 ウェーブスタジアム刈谷、 キンチョウスタジアム
	準決勝 キンチョウスタジアム
	決勝 キンチョウスタジアム
大会方式	<u>予選リーグ</u> 参加クラブを9グループに分け、各グループ内で1回戦総当た

りリーグ戦

決勝トーナメント

予選リーグを通過した16チームに、日本クラブユースサッカー連盟代表の4チームを加えた合計20チームによるトーナメント戦

出場クラブ

J1会員18クラブ、J2会員18クラブ

日本クラブユース連盟代表4クラブ（決勝トーナメントより）

成績

予選リーグ

Aグループ	1位	鹿島アントラーズユース
	2位	ジェフユナイテッド千葉U-18
	3位	FC東京U-18
	4位	水戸ホーリーホックユース
Bグループ	1位	柏レイソルU-18
	2位	大宮アルディージャユース
	3位	ベガルタ仙台ユース
	4位	栃木SCユース
Cグループ	1位	コンサドーレ札幌U-18
	2位	浦和レッズユース
	3位	草津U-18
	4位	モンテディオ山形ユース
Dグループ	1位	清水エスパルスユース
	2位	アルビレックス新潟ユース
	3位	横浜F・マリノスユース
	4位	FC岐阜U-18
Eグループ	1位	京都サンガF.C. U-18
	2位	東京ヴェルディユース
	3位	川崎フロンターレU-18
	4位	ヴァンフォーレ甲府U-18
Fグループ	1位	名古屋グランパスU-18
	2位	横浜FCユース
	3位	ジュビロ磐田U-18
	4位	湘南ベルマーレユース
Gグループ	1位	サンフレッチェ広島F.C.ユース
	2位	アビスパ福岡U-18
	3位	愛媛FCユース
	4位	ガイナレ鳥取U-18
Hグループ	1位	セレッソ大阪U-18
	2位	大分トリニータU-18
	3位	徳島ヴォルティスユース
	4位	ギラヴァンツ北九州U-18
Iグループ	1位	ガンバ大阪U-18
	2位	ヴィッセル神戸U-18
	3位	サガン鳥栖U-18

成績（決勝トーナメント）	4位	ロアッソ熊本ユース
	優勝	名古屋グランパスU18
	準優勝	セレッソ大阪U-18
	3位	清水エスパルスユース
		サンフレッチェ広島F.Cユース

(イ) Jリーグ U-14

開催期間	4月～2012年3月
開催場所	各クラブのホームタウンにおけるスタジアム等
大会方式	参加クラブを3ブロックに分け、ホーム&アウェイ方式による2回戦総当たりリーグ戦を実施した。 ※2011年4月～12月 303試合実施 ※2012年1月～3月 21試合実施予定
出場クラブ	J1会員、J2会員クラブのジュニアユースチームと日本クラブユースサッカー連盟所属チーム（計44チーム）

(ウ) Jリーグ U-13

開催期間	4月～2012年3月
開催場所	各クラブのホームタウンにおけるスタジアム等
大会方式	参加クラブを5ブロックに分け、ブロック別に大会方式を決定し、実施した。 ・ホーム&アウェイ方式による2回戦総当たりリーグ戦 ・ホームorアウェイ方式による1回戦総当たりリーグ戦 ※2011年4月～12月 784試合実施 ※2012年1月～3月 108試合実施予定
出場クラブ	J1会員、J2会員クラブのジュニアユースチーム、日本クラブユースサッカー連盟所属チーム、財団法人日本中学校体育連盟所属の中学校チーム（計117チーム）

(4) 地域とのネットワークづくり活動の促進

各クラブが主体となり、サッカーを「する」「見る」「支える」というさまざまな参加スタイルを提案し、誰もがサッカーを楽しみ、サッカーが生涯スポーツとして定着していけるような普及活動を促進した。

(5) 試合分析等

育成年代の一貫指導体制の充実を図るために、育成年代の試合分析を行った。各年代の課題及び特徴をつかみ、コーチ養成の充実を図った。また、Jクラブのアカデミーの情報共有を促し、育成環境の整備を促進した。

。

-3 プロサッカーの監督及びコーチの養成及び登録

Jリーグ規約に従って、Jクラブの監督及びコーチの資格要件を確認し、Jリーグへの登録を行うとともに、Jクラブが新規に契約する外国人監督の資格審査申請の窓口となり、財団法人日本サッカー協会の承認を受け、Jリーグへの登録を行った。また、財団法人日本サッカー協会の各種指導者研修会、監督会議等を開催し、指導者の育成や技術指導を行った。

研修会名	2011（平成23）年度財団法人日本サッカー協会公認S級コーチ養成講習会
開催期日	8月～11月
対象者	財団法人日本サッカー協会が選定した指導者
会場	ナショナルトレーニングセンター他

-4 プロサッカーの審判員の養成及び登録

Jリーグの主催試合の審判員に対する資格要件に沿って、主審、副審を登録した。また審判員の技術向上を目的として各種研修会を実施した。

研修会名	主審研修会（4回）
開催期日	4月9日（土）・10日（日）※、5月21日（土）・22日（日）、6月18日（土）、19日（日）、10月9日（日） ※分散開催
対象者	Jリーグ担当主審
会場	東京・味の素ナショナルトレーニングセンター、神奈川・日産スタジアム、しんよこフットボールパーク、横浜市スポーツ医科学センター

研修会名	副審研修会（1回）
開催期日	9月3日（土）・4日（日）※分散開催
対象者	Jリーグ担当副審
会場	神奈川・しんよこフットボールパーク

研修会名	Jリーグ担当審判員合同研修会（2回）
開催期日	9月3日（土）・4日（日）※分散開催、11月5日（土）
対象者	Jリーグ担当審判員
会場	神奈川・加瀬の新横浜多目的ホール、横浜市スポーツ医科学センター、東京・JFAハウス

研修会名	レフェリング分析
開催期日	J1・J2リーグ戦、Jリーグヤマザキナビスコカップ開催期間 （J1・7回、J2・14回、Jリーグヤマザキナビスコカップ1回）
対象者	Jリーグ担当審判員
会場	各地

研修会名	プロフェッショナル契約レフェリーキャンプ
開催期日	4月～12月（9回）
対象者	プロフェッショナル契約レフェリー13名
会場	静岡・清水ナショナルトレーニングセンターJ-STEP、時之栖、神奈川・日産フィールド小机

研修会名	審判員交換プログラム
相手国	イングランド
派遣期間	10月29日～11月20日

派遣審判員 Jリーグ担当審判員2名
受入期間 7月16日～8月5日
受入審判員 イングランド審判員2名

-5 レフェリング分析のインターネット配信

Jリーグ担当審判員のレフェリングの質を高めることを目的に、Jリーグ担当審判員に向けてインターネットを使用した情報配信を行った。

② マッチコミッショナーの任命

サッカーの試合の運営、競技、スタジアム施設等、試合における全てを管理するマッチコミッショナーを任命し、心得、任務に伴う諸事項の最終確認のため研修会を実施した。

研修会名 Jリーグマッチコミッショナー研修会
開催期日 7月18日(月・祝)
対象者 2011Jリーグマッチコミッショナー
会場 東京・JFAハウス

4) プロサッカーの試合の施設の検定及び用具の認定

① プロサッカーの試合の施設の検定及び用具の認定

-1 スタジアム施設の検査・公式試合開催指定スタジアムの指定

高水準のサッカーの試合及び試合運営を行うため、スタジアム検査要項に基づき、使用予定のスタジアムを検査し、公式試合開催指定スタジアムを指定した。

札幌ドーム、札幌厚別公園競技場、室蘭市入江運動公園陸上競技場、函館市千代台公園陸上競技場、ユアテックスタジアム仙台、NDソフトスタジアム山形、県立カシマサッカースタジアム、ケーズデンキスタジアム水戸、栃木県グリーンスタジアム、正田醤油スタジアム群馬、埼玉スタジアム2002、NACK5スタジアム大宮、熊谷スポーツ文化公園陸上競技場、フクダ電子アリーナ、日立柏サッカー場、味の素スタジアム、国立競技場、西が丘サッカー場、駒沢オリンピック公園総合運動場陸上競技場、等々力陸上競技場、日産スタジアム、ニッパツ三ツ沢球技場、平塚競技場、山梨中銀スタジアム、東北電力ビッグスワンスタジアム、富山県総合運動公園陸上競技場、アウトソーシングスタジアム日本平、静岡スタジアム エコパスタジアム、ヤマハスタジアム(磐田)、名古屋市瑞穂陸上競技場、豊田スタジアム、岐阜メモリアルセンター長良川競技場、京都市西京極総合運動公園陸上競技場兼球技場、万博記念競技場、大阪長居スタジアム、キンチョウスタジアム、ホームズスタジアム神戸、神戸総合運動公園ユニバー記念競技場、Kankōスタジアム、岡山県津山陸上競技場、広島ビッグアーチ、鳴門・大塚スポーツパークポカリスエットスタジアム、ニンジニアスタジアム、レベルファイブスタジアム、北九州市立本城陸上競技場、ベストアメニティスタジアム、熊本県民総合運動公園陸上競技場(KKWIING)、熊本市水前寺競技場、大分銀行ドーム

-2 用具の認定

高水準のサッカーを行うため、モルテン製『SPEEDCELL®』を公式試合の試合球として認定を行った。

5) 放送等を通じたプロサッカーの試合の広報普及

① プロサッカーの試合のテレビ放送等に関する契約

-1 テレビ放送等に関する契約

リーグ戦その他公式試合のテレビ放送について、スカパーJ SAT（株）、NHK、TBS等と放送権契約を行った。

6) サッカー及びサッカー技術に関する調査、研究及び指導

① 各種委員会等による研修の実施

-1 管理スタッフ教育のための研修

管理スタッフの教育・育成のため、各種委員会等で必要に応じ、国内外において研修を行った。

研修会名	ゼネラルマネージャー講習会
開催期日	4月25日（月）～12月17日（土）の期間中6セッション
対象者	J1及びJ2会員クラブの経営に携わる者の中から選出された11名
会場	JFAハウス他

-2 サッカーに関する情報収集のための研修

サッカー及びそれに伴う事業に関する情報収集のため、国内外において研修や調査を実施した。

② ドーピング検査の実施

-1 ドーピング検査の実施

選手が薬物の使用等により不正に競技能力を高めることを防止するため、Jリーグの公式試合においてドーピングテストを実施した。

③ サッカーの施設充実及び運営に関する研究

-1 スタジアム等サッカーの施設整備の推進

クラブや地方公共団体等が今後サッカースタジアムを設置または改修しようとする際の調査、企画等に協力し、具体的な助言、提案を行った。

④ クラブ経営状態の調査及び指導

主として経営諮問委員会によりクラブ経営に関する調査・分析を行い、健全なクラブ経営を確立するための指導をした。また、経営状況が悪化したクラブへの調査、指導を強化した。

⑤ 準加盟クラブの資格審査及び指導

将来Jリーグ会員になることを具体的な目標とするクラブより申請を受け、審査した結果、一定の基準を満たしたと判断し、準加盟クラブを認定した。また、準加盟クラブの経営を確立するための指導を行った。更に、Jリーグ準加盟を目指すクラブ向けに、セミナーを開催した。

■既認定準加盟クラブ：S.C.相模原、カマタマーレ讃岐、V・ファーレン長崎

■Jリーグ入会クラブ：FC町田ゼルビア、松本山雅FC

セミナー名	Jリーグ準加盟を目指すクラブ向け「Jリーグセミナー」
開催期日	10月6日（木）
対象者	「Jリーグ準加盟クラブ」への申請を予定しているクラブ関係者等
会場	東京・JFAハウス

⑥ ファン リレーションズ促進を狙いとした施策の実施及び各クラブの施策支援

スタジアムへの集客を中心とした既存ファンの満足度向上及び新規ファン獲得を狙いとした施策を企画立案、実施した。さらに、各クラブがスタジアム、ホームタウンで実施する施策への支援を行いリーグの活性化を図り、クラブの経営安定、発展に結びつけた。また、Jリーグの試合会場で、専用の非接触ICカードや二次元コード入りのチケットを専用端末にかざしてスタジアムに入れる「ワンタッチパス」サービスにより、観客サービスの向上につながる環境整備を行った。

また、クラブ担当者を対象とした研修会を開催した。

研修会名	チケット担当者研修会
開催期日	6月6日(月)
対象者	J1及びJ2会員クラブのチケット担当者
会場	東京・JFAハウス

研修会名	ファンディベロップメント担当者研修会
開催期日	11月22日(火)
対象者	J1及びJ2会員クラブのファンディベロップメント担当者
会場	東京・JFAハウス

⑦ マーケティングの分野における調査研究及び研修の実施

-1 マーケティング調査研究の実施

Jリーグ及びJクラブのマーケティング活動を支援・促進するための調査研究を行った。

調査内容	スタジアム観戦者調査
調査期間	5月～10月
調査協力者	仲澤 眞、高橋 義雄(以上、筑波大学)、原田 宗彦(早稲田大学)、 藤本 淳也(大阪体育大学)
調査実施場所	リーグ戦開催スタジアム

⑧ リーグ構造に関する調査、研究

-1 クラブライセンス制度の導入

クラブライセンス制度の2013年シーズンからの導入に向け、「Jリーグクラブライセンス交付規則」および同規則に付随する運用細則を策定した。

7) プロサッカー選手、監督及び関係者の福利厚生事業の実施

① プロサッカー選手、監督及び関係者の福利厚生事業の実施

-1 プロサッカー選手を対象とした災害補償制度の実施

プロサッカー選手を対象に、福利厚生事業の一環として死亡及び後遺障害に対し、Jリーグ災害補償制度に基づくファミリー労働災害補償保険の付保を行った。

-2 プロサッカー選手のキャリア教育

Jリーグキャリアサポートセンターが、プロサッカー選手が自らのキャリアを築くための環境整備を行い、キャリア形成支援活動を行った。

- ・新人選手対象に、クラブの仕事理解のためにクラブ内インターンシップを実施、また、加入3年目までの若手選手を対象に、スポンサーインターンシップをはじめ、ホームタウン活動を中心としたクラブの様々な活動を選手教育の場とした、教育、研修施策を展開した。
- ・アカデミー選手を対象に、プロサッカー選手意識醸成を目的とした研修を実施した。
- ・Jリーグ各クラブの持つ選手教育ノウハウをナレッジマネジメントすることで、選手教育システムの確立を目指した。
- ・選手向け就学支援制度を策定・運営し、大学進学、eラーニング、英会話など学ぶ意欲の高い選手に対してサポートを行った。
- ・Jリーグ登録抹消選手のセカンドキャリア支援として、キャリアカウンセリングを実施した。

8) サッカーに関する国際的な交流及び事業の実施

① サッカーに関する国際的な交流及び事業の実施

-1 国際大会への参加

■ AFCチャンピオンズリーグ2011

アジアサッカー連盟主催のAFCチャンピオンズリーグ2011に、名古屋グランパス（2010Jリーグ優勝）、ガンバ大阪（2010Jリーグ準優勝）、セレッソ大阪（2010Jリーグ3位）及び鹿島アントラーズ（第90回天皇杯全日本サッカー選手権大会優勝）がグループステージから出場した。

グループマッチ： グループE

期日	対戦・結果	場所
4月5日（火）	済州ユナイテッド(韓国) 2 vs 1 ガンバ大阪(日本)	済州ワールドカップスタジアム(済州)
4月20日（水）	ガンバ大阪(日本) 3 vs 1 済州ユナイテッド(韓国)	万博記念競技場
5月4日（水）	メルボルン・ビクトリー(オーストラリア) 1 vs 1 ガンバ大阪(日本)	ドックランズスタジアム(メルボルン)
5月11日（水）	ガンバ大阪(日本) 2 vs 0 天津泰達(中国)	万博記念競技場

グループマッチ： グループF

期日	対戦・結果	場所
4月6日（水）	名古屋グランパス(日本) 1 vs 1 FCソウル(韓国)	瑞穂陸上競技場
4月12日（火）	名古屋グランパス(日本) 4 vs 0 アルアイン(UAE)	瑞穂陸上競技場
4月19日（火）	FCソウル(韓国) 0 vs 2 名古屋グランパス(日本)	ソウルワールドカップスタジアム(ソウル)
5月4日（水）	名古屋グランパス(日本) 1 vs 0 杭州绿城(中国)	瑞穂陸上競技場
5月11日（水）	アルアイン(UAE) 3 vs 1 名古屋グランパス(日本)	タハヌーン・ビン・モハドスタジアム(アルアイン)

グループマッチ： グループG

期日	対戦カード	試合会場
4月5日（火）	セレッソ大阪(日本) 1 vs 0 全北現代モータース(韓国)	大阪長居スタジアム
4月20日（水）	全北現代モータース(韓国) 1 vs 0 セレッソ大阪(日本)	全州ワールドカップスタジアム(全州)
5月3日（火）	アラブ・インドネシア(インドネシア) 0 vs 4 セレッソ大阪(日本)	カンジュルハンススタジアム(マラ)
5月10日（火）	セレッソ大阪(日本) 4 vs 0 山東魯能(中国)	大阪長居スタジアム

グループマッチ： グループH

期日	対戦カード	試合会場
4月6日(水)	水原三星ブルーウイングス(韓国) 1 vs 1 鹿島アントラーズ(日本)	水原ワールドカップスタジアム(水原)
4月13日(水)	シドニーFC(オーストラリア) 0 vs 3 鹿島アントラーズ(日本)	シドニーフットボールスタジアム(シドニー)
4月19日(火)	鹿島アントラーズ(日本) 1 vs 1 水原三星ブルーウイングス(韓国)	国立競技場
5月3日(火)	鹿島アントラーズ(日本) 2 vs 0 上海申花(中国)	国立競技場
5月10日(火)	鹿島アントラーズ(日本) 2 vs 1 シドニーFC(オーストラリア)	国立競技場

ラウンド16 5月24日(火)、25日(水)

期日	対戦・結果	試合会場
5月24日(火)	ガンバ大阪(日本) 0 vs 1 セレッソ大阪(日本)	万博記念競技場
5月25日(水)	FCソウル(韓国) 3 vs 0 鹿島アントラーズ(日本)	ソウルワールドカップスタジアム(ソウル)
5月25日(水)	水原三星ブルーウイングス(韓国) 2 vs 0 名古屋グランパス(日本)	水原ワールドカップスタジアム(水原)

準々決勝 9月14日(水)、27日(火)

期日	対戦・結果	試合会場
9月14日(水)	セレッソ大阪(日本) 4 vs 3 全北現代モータース(韓国)	大阪長居スタジアム
9月27日(火)	全北現代モータース(韓国) 6 vs 1 セレッソ大阪(日本)	全州ワールドカップスタジアム(全州)

-3 育成年代の国際交流試合の実施

Jクラブのアカデミーより選手を選抜し、サッカー技術の向上のみならず、サッカーを通じて国際的な交流及び親善を図るため、海外での試合並びに海外チームを招聘しての試合を実施した。

(1) U-16 Jリーグ選抜オランダキャンプ

U-16 Jリーグ選抜チームを編成し、オランダキャンプを行った。

期間 8月8日～8月16日

対象 J1及びJ2会員クラブのアカデミープレーヤー

場所 オランダ

大会 RKTVC BVO U-17 国際トーナメント

戦績 第6位(2勝3敗1分) フェアプレー賞受賞

○ U-16 Jリーグ選抜 (1-0) FCユトレヒト

○ U-16 Jリーグ選抜 (2-0) SCヘーレンフェーン

● U-16 Jリーグ選抜 (0-1) FCトゥエンテ

△ U-16 Jリーグ選抜 (0-0) アーゼット アルクマール

● U-16 Jリーグ選抜 (0-1) KRCヘンク

● U-16 Jリーグ選抜 (0-1) ゼニトサンクトペテルブルク

【トレーニングマッチ】

○ U-16 Jリーグ選抜 (7-1) エクセルシオール

(2) U-15 Jリーグ選抜ブラジルキャンプ

U-15 Jリーグ選抜チームを編成し、ブラジルキャンプを行った。

期間 8月24日～9月2日

対象 J1及びJ2会員クラブのアカデミープレーヤー

場所 ブラジル

大会 第14回 日伯友好カップ

戦績 予選リーグ敗退(3敗)

● U-15 Jリーグ選抜 (1-3) フラメンゴ

● U-15 Jリーグ選抜 (1-3) グレミオ・オサスコ

- U-15 J リーグ選抜 (0-1) センダス
【トレーニングマッチ】
- U-15 J リーグ選抜 (6-1) CFZ ブラジリア
- U-15 J リーグ選抜 (1-2) ボタフォゴU-16

(3) U-14 J リーグ選抜オランダキャンプ

U-14 J リーグ選抜チームを編成し、オランダキャンプを行った。

期間 8月23日～8月30日

対象 J1及びJ2会員クラブのアカデミープレーヤー

場所 オランダ

大会 第18回Willems II 国際ユース大会

戦績 第2位(3勝2敗)

- U-14 J リーグ選抜 (0-1) アーセナル (イングランド)
- U-14 J リーグ選抜 (3-0) ゼニトサンクトペテルブルク (ロシア)
- U-14 J リーグ選抜 (4-0) ヴィレムII/RKC
- U-14 J リーグ選抜 (1-1/PK5-4) バイエレンミュンヘン (ドイツ)
- U-14 J リーグ選抜 (0-1) アーセナル (イングランド)

【トレーニングマッチ】

- U-14 J リーグ選抜 (5-1) エクセルシオール

(4) U-13 J リーグ選抜韓国キャンプ

U-13 J リーグ選抜チームを編成し、韓国キャンプを行った。

期間 7月31日～8月5日

対象 J1及びJ2会員クラブのアカデミープレーヤー

場所 韓国

大会 トレーニングマッチ

戦績 (4勝)

- U-13 J リーグ選抜 (2-0) 蔚山現代
- U-13 J リーグ選抜 (5-1) 浦項スティーラーズ
- U-13 J リーグ選抜 (6-1) 釜山アイパーク
- U-13 J リーグ選抜 (2-1) 蔚山現代

9) サッカーをはじめとするスポーツの振興及び援助

① Jリーグ設立趣旨の具現化の推進

-1 各クラブの活動状況の実状及び計画に関する調査とそのフォロー

Jリーグの設立趣旨の具現化に向けた各クラブの活動状況の実状及び計画を調査し、それに基づいて、各クラブが関連自治体及び地域サッカー協会等と一体となって『地域に根ざしたスポーツクラブ作り』を行うよう指導するとともに、各クラブに対しその活動のための支援を行った。併せて、Jリーグ設立趣旨の全国への浸透を図った。

-2 地域スポーツ振興への支援

各クラブが主体となり、活動区域においてその地域のスポーツ振興のためにサッカー(一部除く)以外のスポーツを開催する場合、1行事につき100万円を上限として支援した。

クラブ名	行事名	対象種目	形式	参加対象者	開催期間	場所
仙台	ベガルタ仙台・ソフトテニス教室及びソフトテニス指導者講習会	ソフトテニス	教室	宮城県中学・高校ソフトテニス指導者ならびに中学・高校ソフトテニス選手	11月12日(土)	東北工業大学 長町キャンパス テニスコート
	ベガルタ仙台・バリアフリーサッカー教室	障がい者サッカー(電動車椅子サッカー、バリアフリーサッカー、ブラインドサッカー、精神障がい者サッカー)	教室	宮城県内の障がい者	7月5日(火)、8月2日(火)、9月10日(土)、10月29日(土)、11月5日(土)、11月25日(金)、12月11日(日)	塩釜第一小学校体育館、成田公民館、宮城教育大学グラウンド、スポパーク松森フットサルプラザ
	ベガルタ仙台介護予防教室	健康体操教室、栄養講習会	教室	宮城県内の高齢者	5月～実施中(2012年3月まで)	宮城県内
山形	女子駅伝支援事業	駅伝	教室、チーム	教室: 小学5, 6年生～中学生	通年	山形県内、他全国
	モンテディオ山形 さわやかいきいきフィットネス教室	トレーニング、ウォーキング、グラウンドゴルフ、体操、体力測定など	教室	60歳以上	6月～11月	山形県総合運動公園内施設、およびホームタウン自治体の地域施設
鹿島	第13回鹿島アントラーズ杯ミニバスケットボール大会	バスケットボール	大会	小学生	12月10日(土)、11日(日)	神栖市立深芝小学校・神栖市立大野原西小学校
水戸	水戸ホーリーホック 女子ラグビー強化プロジェクト	女子ラグビー	教室	小・中学生	5月15日(日)～12月18日(日)	水戸市サッカー・ラグビー場(ツインフィールド)ほか
	第5回ホーリーカップハンディキャップサッカーフェスティバル	障がい者サッカー	大会	小学生以上	7月17日(日)、7月31日(日)	ひたちなか総合運動公園スポーツ広場
	チアリーディング事業	チアリーディング	教室	未就学児～小学生	4月～12月	シダックス水戸西原
草津	ザスバ草津2011 ファイトカップ群馬県知的障がい者サッカー大会	障がい者サッカー	大会	群馬県内の養護学校生、養護学校卒業生または社会福祉施設利用者からなるチーム	7月24日(日)	サンデンフットボールパーク
	介護予防事業「ザスバ健康づくり教室」	体力測定、栄養指導、運動指導	教室	60歳以上の健康な方	6月23日(木)～9月1日(木)(全10回)	前橋市民体育館 副競技場・剣道場

浦和	レッズランド テニススクール	テニス	教室	キッズ(年中・年長)～一般	通年(週3回)	レッズランド内テニスコート
	レッズランド ランニングスクール	ランニング	教室	レッズランド会員および小学生以上の地域住民など	4月3日(土) 通年(週1～2回) ※8月は開催なし	レッズランド
大宮	第4回大宮アルディージャ ORANGE HAPPY SMILE CUP(埼玉県知的障がい者サッカー大会)	障がい者 サッカー	大会	13歳以上の知的障がい者で療育手帳の交付を受け、県内に在住・および県内厚生援護施設に入所・通所・通学している者。	7月31日(日)	NACK5 スタジアム大宮
千葉	第12回 夏休み親子スポーツ合宿	サッカー、キャンプ、ゴルフ	合宿	小学生とその父母	8月14日(日)、15日(月)	ユナイテッドパーク、千葉市少年自然の家、真名カントリークラブ
F 東京	FC 東京 バレーボールチームの年間活動	バレーボール	チーム	一般	通年	東京都内(普及活動)・全国各地(公式戦活動)
東京V	東京ヴェルディバレーボールチーム	バレーボール	チーム	一般	通年	東京都内、全国各地
	東京ヴェルディトライアスロンチーム	トライアスロン	チーム	一般	通年	アクラブ稲城、その他
	第6回東京ヴェルディ稲城グリーン駅伝	駅伝	大会	各種	5月5日(木・祝)	稲城中央公園(総合グラウンド、野球場を含む)
川崎F	青空健康教室	ウォーキング、ピラティス、ヨガ、グラウンドゴルフなど	教室	地域で生活する女性、中高齢者	通年	フロントウンさぎぬま
横浜FM	横浜 F・マリノス マリノスポーツチャレンジ	パドボ、アウトリガーカヌー、スイムレース、ウインドサーフィン、ビーチサッカーなど	大会 教室	小学生～一般	5月～10月	材木座海岸、由比ガ浜海岸ほか
湘南	湘南ベルマーレビーチバレーチーム	ビーチバレー	大会、教室、チーム	【チーム】選手【大会・教室】小学生～一般	通年	湘南ひらつかビーチセンター ほか
	2011トライアスロン選手強化とトライアスロン、ラン、バイク、スイムのスクール指導	トライアスロン	教室、チーム	【チーム】選手【大会・教室】小学生～一般	4月1日～12月31日	湘南ひらつかビーチセンター、馬入ふれあい公園、荻野運動公園 ほか

湘南	湘南ベルマーレ 女子ソフトボールチーム 2011 およびスクール指導	ソフトボール	チーム教室	【チーム】選手 【大会・教室】小中学生	通年	厚木市を中心としたホームタウン各市町およびリーグ戦開催地
	2011年 オーシャンスイムスクール	オーシャンスイム	教室	プールで100m以上泳げる高校生以上の健康な男女	5月7日～10月8日 (全16回)	湘南ひらつかビーチパーク
	ベルマーレカップ2011 第22回小学生駅伝競走大会	駅伝	大会	ホームタウン内の小学4年生～6年生(保護者の承諾書が必要)	12月3日 (土)	平塚市総合公園
	2010年 健康づくり教室	ハイキング、ウォーキング	教室	中高齢者	通年	馬入アリーナ体育館、厚木市東町体育館、小田急百貨店屋上、上府中公園 ほか
甲府	第2回ふれあいサッカー教室	障がい者サッカー	教室	精神障がい者	10月29日 (土)	山梨大学医学部グラウンド
	カメラリアヘルスアップウォーキング	ウォーキング、体操、軽運動	教室	県内60歳以上	通年	昭和町押原公園
	シニアわくわく健康運動教室	ストレッチ、体操、スポーツ観戦	教室	甲府市、笛吹市、甲斐市、中央市に在住の60歳以上	9月～11月	甲府市緑が丘競技場、笛吹市石和清流公園芝生広場、甲斐市敷島運動公園、中央市山梨大学医学部グラウンド
新潟	アルビレックス新潟ゲートボール講習会	ゲートボール	教室	中高齢者、小学生 ほか	5月～12月 ※8月は除く	エスフリー・フットサルコート、各学校、西区のゲートボール場
	アルビレックス新潟×新潟アルビレックスRC 合同ランニング&ウォーキングクリニック	ランニング、ウォーキング	教室	中学生以上の一般市民ランナー、ランニング初心者	5月～11月 (全38回)	東北電力ビッグスワンスタジアムほか新潟県内各地
	アルビレックス新潟 フープクリニック	バスケットボール	教室	経験者、未経験者、指導者	7月～12月	新潟県内
	アルビレックス新潟杯争奪ゲートボール大会	ゲートボール	大会	新潟市を中心とし、県下各地のゲートボールチーム	6月9日(木)	東北電力スワンフィールド
新潟	若返り健康運動&健康いきいきウォーキング～健康いきいきキャラバン隊～	ウォーキング、トレーニング、ストレッチ	教室	中高齢者	9月～10月	新潟県健康づくりスポーツ医学センターほか新潟県内4会場
富山	「きときと！つやつや！プロジェクト」～サッカーボールを使った介護予防運動～	健康運動	教室	デイサービスに通う高齢者	4月20日 (水)、9月23日 (金祝)	高岡市、朝日町

磐田	第14回ジュビロ磐田メモリアルマラソン	マラソン	大会	小学生～一般	11月13日(日)	磐田スポーツ交流の里 ゆめりあ
	ジュビロジュニアチアスクール	チアリーディング	教室	小学生～高校生の女子	通年	サーラプラザ浜松／ヤマハスタジアム
京都	京都サンガ F.C. キッズチアリーダースクール	チアリーディング	教室	小学生	通年	西京極総合運動公園陸上競技場内雨天走路
	ビーチフラッグ大会 IN 網野	ビーチフラッグス?	大会	一般、小学生、女性	7月3日(日)	網野町浜詰夕日ヶ浦海岸
	第35回京都府家庭婦人バレーボール連盟京都サンガ F.C.カップ 秋季リーグ戦	バレーボール	大会	京都府家庭婦人バレーボール連盟登録チーム	9月25日、10月3日、6日、7日、13日、18日、27日、11月1日、6日	京都府立体育館、山城総合運動公園体育館、向日市民体育館、伏見港公園総合体育館、福知山市三段池公園総合体育館
C大阪	セレッソ大阪 元気でえ！プログラム『イキイキはつらつ塾』in 長居	ヨガ、ストレッチ、体操、ウォーキング など	教室	市内在住のシニア	通年(月2回)	キンチョウスタジアム南練習室、長居公園、東急スポーツオアシス鶴ヶ丘店
	夢・授業 キッズスポーツアカデミー	バレーボール、バスケットボール、フットサル、サッカー	教室	小学生	9月17日(土)	大阪市立中央体育館
神戸	ヴィッセルカップバドミントンチャレンジ 2011	バドミントン	大会	兵庫県内在住の中学1・2年生の男女	11月5日(土)	神戸夙川学院大学体育館
	89フェスピック神戸記念日本障がい者サッカー親善大会	障がい者サッカー	大会	障がい者チーム、神戸市内ママさんチーム等	9月3日(土)、4日(日)	神戸市しあわせの村
	ヴィッセル神戸アスレチッククラブ	陸上競技	教室	小学生男女計60人	通年(月2回)	甲南大学六甲アイランド体育施設陸上競技場
広島	平成23年度スポーツスクールの開催	バドミントン、バレーボール、バスケットボール、テニス	教室	小中学生の男女	通年	ひろぎんの森、広島県スポーツ会館
	サンフレッチェ広島 グラウンドゴルフ大会	グラウンドゴルフ	大会	グラウンド・ゴルフ愛好者	10月22日(土)	広島広域公園陸上競技場(広島ビッグアーチ)第1球技場・補助球技場
愛媛	愛媛FC 精神障がい者フットサル教室&フットサル大会	障がい者フットサル	大会教室	精神障がい者(医療機関で入院・通院治療中である者)	通年(月2回)	愛媛フットサルパーク

福岡	アビスパ福岡 視覚障がい者 サッカー支援 活動	障がい者 サッカー	チーム、 指導者 派遣	視覚障がい者	通年	福岡県立福岡高等盲 学校 ほか
	アビスパ福岡 タグラグビーフ ェスタ	タグラグ ビー	大会	県内小学生、小学4年生以上の 児童	10月8日(土)	福岡フットボールセン ター
	第5回アビス パ杯争奪ドッジ ボール大会(ア ビドッジ)	ドッジボ ール	大会	各校区子ども会の小学生会員	10月23日 (日)	福岡市東区東体育館
大分	大分トリニータ 知的障がい者 サッカーリー グ、教室	障がい者 サッカー	大会 教室	【リーグ】知的障がいのある選手 によって構成されたチームで大 分県に本拠地を置いているチー ム。【教室】臼杵養護学校・宇佐養 護学校・大分県盲学校	通年	大分スポーツ公園人 工芝 ほか
	大分トリニータ 高齢者水中介 護予防	ストレッチ、水中 運動、体 力測定	教室	高齢者	5月～10月 (月2回・計 12回)	スポーツクラブルネサ ンス大分

-3 地域ボランティア活動への支援

各クラブが主体となり、公益財団法人さわやか福祉財団の協力で活動区域の老人ホームを訪問するボランティア活動「サッカーさわやか広場」の支援を行った。

-4 スタジアムおよび総合型スポーツクラブとしての基盤等の整備

10) 機関紙の発行等を通じたプロサッカーに関する広報普及

① 機関紙の発行等を通じたプロサッカーに関する広報普及

-1 プロサッカーの試合開催の告知

プロサッカーの試合の日時、対戦カード、開催会場等の告知をテレビ、ラジオ、新聞、雑誌、インターネット等の媒体を通じて行った。また、リーグ戦のプロモーションビデオを製作し、テレビ、新聞、雑誌、インターネット、スタジアムの大型映像等の媒体を通じて告知した。

-2 Jリーグの理念の告知

Jリーグの理念を伝えることを目的としたメッセージビデオ及びポスターを製作し、テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、インターネット、スタジアムの大型映像等の媒体を通じて告知し、一般大衆に理念を浸透させた。また、Jリーグ百年構想のイメージキャラクター「Mr.ピッチ」を地域スポーツの振興活動に派遣し、PRを行った。

-3 Jリーグに関する広報誌、DVD(ビデオ)の発行

Jリーグ及び各クラブの動向をサッカー関係者、メディア等に伝えることを目的とした広報誌「Jリーグニュース」、「Jリーグニュースプラス」、「Jリーグガイド」を発行し、上記関係者に無償配布した。

-4 Jリーグに関する海外向けの広報誌の発行及びインターネットによる情報提供

Jリーグの活動、Jリーグにおける外国籍選手の活躍等の情報を海外のメディア、サッカー関係者に伝えることを目的とした英語版「Jリーグガイド」を発行した。さらに、Jリーグの国際的な認知度を高めることを目的としてインターネット(英語版)にJリ

ーグの情報を提供した。

-5 Jリーグに関する出版物の発行

- (1) Jリーグに関するインフォメーション活動の一環として、大会趣旨、日程及びスタジアム紹介等プロサッカーに関する情報を掲載した「Jリーグオフィシャルファンズガイド2011」及び前年度の公式試合の記録集である「Jリーグイヤーブック2011（公式記録集）」を発行した。
- (2) 「Jリーグ公式DVD」（株）Jリーグメディアプロモーション発行）、「Jリーグカレンダー」（Jリーグフォト（株）発行）等の監修、Jリーグ主催試合の公式プログラム等の発行を行った。

-6 Jリーグに関する情報サービス

- (1) Jリーグに関するインフォメーション活動の一環として、日程、チケット販売クラブ情報及びその他プロサッカーに関する情報サービスをインターネット公式ホームページ（委託先：（株）Jリーグメディアプロモーション）及び「J's GOAL（インターネット）」（委託先：（株）Jリーグメディアプロモーション）を通じて行った。
- (2) 「Jリーグオフィシャルファンズガイド2011」及び「Jリーグイヤーブック2011（公式記録集）」を主要メディアに無償で配布した。

-7 Jリーグに関する活動についての説明会の実施

Jリーグの理念及び活動、またサッカーという競技をメディア関係者により深く理解してもらうために各主要地域において懇談会を実施した。

11) その他目的を達成するために必要な事業

① プロサッカーに関するスポンサー及びサプライヤー契約

-1 スポンサー及びサプライヤー契約

Jリーグの定款目的に賛同する企業等を対象に、Jリーグのスポンサー及びサプライヤーとしての交渉及び契約を行った。契約締結企業は以下のとおり。

■オフィシャルスポンサー

カルビー（株）、キヤノン（株）／キヤノンマーケティングジャパン（株）、（株）コナミデジタルエンタテインメント、（株）アイデム、日本コカ・コーラ（株）、東京エレクトロン（株）、日本マクドナルド（株）

■Jリーグ百年構想パートナー

朝日新聞社

■リーグカップスポンサー

ヤマザキナビスコ（株）

■スーパーカップスポンサー

富士ゼロックス（株）

■Jリーグオフィシャルエクイップメントパートナー

アディダスジャパン（株）／（株）モルテン

■Jリーグオフィシャルサプライヤー

ジョンソン・エンド・ジョンソン（株）ビジョンケアカンパニー

■Jリーグオフィシャルブロードキャスティングパートナー

スカパーJSAT（株）

■スポーツ振興パートナー

独立行政法人日本スポーツ振興センター

■90° システム広告スポンサー

日本コカ・コーラ (株)

■ユニフォームサプライヤー

(株) アシックス、アディダスジャパン (株)、(株) ウィンスポーツ、(株) エスエスケイ、(株) カレッジリーグ、(株) ゴールドウイン、(株) デサント、(株) ドーム、(株) ナイキジャパン、プーマジャパン (株)、(株) フェニックス、(株) ポリウム、(株) マイノリティー、ミズノ (株)、ヨネックス (株)、(株) ロイヤル、(株) ワコール

② 共同事業に関するスポンサー及びサプライヤー契約

-1 共同事業に関するスポンサー及びサプライヤー契約

Jリーグと共同事業を行う企業とともにJリーグの定款目的に賛同する企業を対象に、Jリーグのスポンサー及びサプライヤーとしての交渉及び契約を行った。

③ プロサッカーに関する商標等の登録、管理及びそれらを使用した商品の製作販売

-1 商標の登録・管理

Jリーグに関するマーク、デザイン等を保護するため、商標登録を行い、管理した。

-2 Jリーグのマーク、デザイン等を使用した商品の製作販売

Jリーグのマーク、デザイン等を使用した商品の製作、販売を(株) Jリーグエンタープライズ等を通じて行った。

-3 データ事業

公式試合を分析、個々のプレー等をデータベース化し、各種データを編集、販売した。
(ライセンス契約先：(株) Jリーグメディアプロモーション)

④ コンプライアンス体制の構築

-1 Jリーグ関係者を対象としたコンプライアンス体制の確立に向けた研究

Jリーグ関係者を対象としたコンプライアンス憲章、規程、マニュアル策定を視野に入れ、ヒアリング等により事例検討を行った。

⑤ その他目的を達成するために必要な事業

-1 Jヴィレッジ及びJリーグ関連3社への運営参画

福島県にあるサッカートレーニング施設・Jヴィレッジ ((株) 日本フットボールヴィレッジ) の運営に財団法人日本サッカー協会と共同で参画することにより、日本サッカーの強化・普及に寄与した。また、Jリーグ関連3社への運営に参画することにより、Jリーグ経営基盤の拡大、サッカーの普及及びスポーツ振興に寄与した。

(なお、Jヴィレッジは、福島第一原子力発電所事故に伴い、2011年3月15日以降スポーツ施設としては全面閉鎖し、国が管理する原発事故の対応拠点となっている。)

■株式保有 (全株式の20%以上) をしている営利企業

名称： (株) ジェイリーグエンタープライズ

事務所所在地： 東京都文京区本郷3-10-15 JFAハウス7階

資本金： 36,000,000円

事業内容： Jリーグ、Jクラブ、及びサッカー日本代表のロゴ・キャラク

ター等を使用した商品の開発、販売及びサブライセンスの管理、サッカーに関する広告・宣伝業務等を行う。

役員数： 9名
代表者： 佐々木 一樹
従業員数： 27名
当該公益法人が保有する株式数及びその割合：
27,000株／37.5%

保有する理由： Jリーグ経営基盤拡大等の見地から、当社の設立意義、業務形態等を勘案し、平成7年3月に増資された際に発行株式総数の33.3%を保有した。平成11年1月横浜フリューゲルス消滅に伴い、運営会社全日空スポーツ（株）の保有株式の譲渡を受け、Jリーグの保有比率は37.5%となった。平成11年3月、当社はJリーグとの間で、商品化権に関する基本契約を締結し、Jリーグ並びにJクラブの名称、ロゴ、マーク、商標等を使用する権利を取得し、業績拡大の礎を築いた。平成20年3月より、Jリーグ公式戦における看板運営業務並びにJリーグ主催イベント運営管理業務をJリーグより受託した。

当該公益法人と当該営利企業との関係：
役員兼任1名、業務委託及び商品化権料受領

名称： Jリーグフォト（株）
事務所所在地： 東京都文京区本郷3-10-15 JFAハウス7階
資本金： 30,000,000円
事業内容： Jリーグ公式試合等の静止画像（スチール写真）を記録・保存し、質の高いサッカー写真の提供サービスを行う。また、スチール写真を一括管理することで選手・監督・コーチ等の肖像権を守る役割も担う。

役員数： 10名
代表者： 佐々木 一樹
従業員数： 6名
当該公益法人が保有する株式数及びその割合：
240株／40%

保有する理由： 当社が静止画像を系統的に記録し、一元的に管理運用することはサッカーの普及とスポーツの振興の上で、意義深いことであり、また、利用者の利便性の向上、肖像権の保全等の見地から、Jリーグ主導で管理運営する必要がある、当社の株式保有と役員派遣を行うに至った。

当該公益法人と当該営利企業との関係：
役員兼任1名、業務委託及び商品化権料受領

名称： (株) Jリーグメディアプロモーション
事務所所在地： 東京都文京区本郷3-10-15 JFAハウス8階

資本金： 30,000,000円
事業内容： Jリーグ公式試合等の映像を一元管理し、映像の記録・保存、権利等の管理を行う。また、保存されている映像を、国内外を問わず、ニーズに応じて様々な形で提供し、Jリーグの広報・サッカーの普及活動に繋げる。

役員数： 8名
代表者： 中野 幸夫
従業員数： 14名
当該公益法人が保有する株式数及びその割合：
204株／34％

保有する理由： 当社が映像資料を系統的に記録し、一元的に管理運用することは、サッカーの普及とスポーツの振興の上で、意義深いことであり、また、利用者の利便性の向上、諸権利の保全等の見地から、Jリーグ主導で管理運営する必要があるため、当社の株式保有と役員派遣を行うに至った。

当該公益法人と当該営利企業との関係：
役員兼任1名、業務委託及び放映権料受領

-2 スポーツ振興投票対象試合開催機構の業務

スポーツ振興投票の実施等に関する法律に基づき、スポーツ振興投票対象試合開催機構としての指定を受け、同法に定められた範囲内での業務を行い、日本のスポーツ振興に寄与した。

⑥ Jリーグ20周年事業の実施

Jリーグ設立20周年に関連する事業等の企画立案を実施した。

⑦ 東日本大震災復興支援活動の実施

東日本大震災の被災地を支援するため、「チカラをひとつに。－TEAM AS ONE－」のスローガンのもと、Jクラブ、選手、ファン・サポーター、スポンサー等と協力し、募金活動をはじめとする復興支援活動を行った。